

# 広島市植物公園

## 見どころ案内

**天涯ユリ(ユリ科)**  
オニユリの園芸品種で八重咲きです。

**ミナヅキ 水無月(ユキノシタ科)**  
ノリウツギの園芸品種です。花房の全体が装飾花なので華やかです。

**ヒゴタイ(キク科)**  
青い花を球状に咲かせるアザミの仲間です。つぼみが青くなって開花間近となりました。

**アスペラ(ユキノシタ科)**  
ヒマラヤから東南アジアに分布するアジサイの仲間です。うす紫の花が見ごろになりました。別名、ヒマラヤ甘茶。

**レンゲショウマ(キンポウゲ科)**  
花が咲き始めました。レンゲとは、ハスの花を意味します。

**ハナナズナ(アブラナ科)**  
広島県と対馬、朝鮮半島、中国東部に分布するそうですが、広島県では絶滅が危惧されています。ナズナに似ていて、花が美しいので名がつけました。

**ノリウツギ(ユキノシタ科)**  
和紙をすくときのノリに樹液を利用したので名がつけました。原種のノリウツギのほか、園芸品種のユニークとタルディバが咲いています。

**クスノハアジサイ(ユキノシタ科)**  
フィリピンや台湾など、熱帯地域の常緑のアジサイです。つぼみが苞葉に包まれて、玉になっています。

サボテン温室

**タイタンビスカス(アオイ科)**  
アメリカフヨウとモミジアオイの交配により作られた園芸品種です。子どもの顔ほどある大きな花がたくさん咲いています。花色は赤、ピンクなど色々です。

**エンジュ(マメ科)**  
古くに日本に渡って街路樹や公園樹として利用されています。中国原産ですが、なぜか学名は、ソフォラ・ヤポニカです。

**パイナップルリリー(ユリ科)**  
南アフリカ原産。若いつぼみの時、花房の形がパイナップルに似ているので名がつけました。ユーコミスとも呼ばれます。

**セイヨウニンジンボク(クマツヅラ科)**  
ヨーロッパ南部の地中海沿岸地方原産です。花はうす紫色で、まれに白色です。ヨーロッパでは果実を香料として利用するそうです。英名はワイルドペッパー。

**ホルトノキ(ホルトノキ科)**  
ポルトガルの木という意味です。元はオリーブをさす名前でしたが、江戸時代の学者、平賀源内が、実がよく似ていることからオリーブの木だとかんちがいをして、ついた名だと言われています。日本から東南アジアまで自生しています。オリーブとはまったく関係のない木です。

**ムラサキナツフジ(マメ科)**  
中国原産のナツフジで、サッコウフジ 醋甲藤とも呼ばれます。花色の微妙なちがいで紅醋甲、紫醋甲、白花を白醋甲と呼んで盆栽に利用されます。葉にも変化があり、丸葉、細葉などがあります。

